

再生・活性化を果たした商店街事例 №30

堺東商店街連合会(大阪府堺市)

【取組の方向】 イベントをきっかけにコミュニティづくり

堺市内で一番の商業地に位置する8商店街の連合体。店舗数約400。

○商店街の置かれた状況。
市内随一の商業地にあっても、周辺人口や最寄駅利用客数の減少により、来街者が減少。



○対応策
世代交代により、若い組合員が増加し、各商店街理事長も若返り。連合会としても若手の意見を尊重し、若手が活躍の場を広げる。

○状況変化
堺東を愛する若手が次々とイベントを企画・開催。イベントをきっかけに商店街以外の住民へもコミュニティを広げ、地域の活動として継続。



○具体的取組
夏まつりのような大規模イベントだけでなく、バルや親子づれ対象のマーケット、清掃活動といった、密なコミュニケーションをとれるイベントも開催。できる範囲でできることをやってもらい、仲間を増やす。

○具体的成果
来街者数が増加に転じ、平日の徒歩通行量は最低期の1.2倍に。空き店舗はほとんどない状況が続く。



【地方自治体の取組】
市は、防犯カメラやLEDなどのハードへ補助。常に商店街と連絡を取りながら二人三脚でまちづくりを行っている。